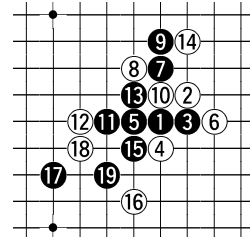


雲月・雨月桂馬挟みの研究(10)

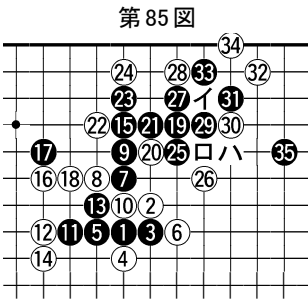
九段 河村典彦

【第84図】前回書いたように、白8の防ぎにはまず黒9と打っておく。対して白10の可能性をいろいろ考えてみよう。白10は最強防なのだが、それには黒11、13とズバツと引



くのが決断の一手で、これで勝ちが見えてくる。まずは白14の止めから。これには黒15と一旦固まっておくのが妙手で、白どこを止めても追い勝ちができる。例えば白16なら、黒17、19で勝ちが決まる。白20をどこに止めても追い勝ちになることを確かめてもらいたい。

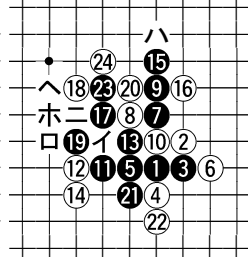
【第85図】白14の反対。こちらに止められると白の反撃も考えに入れないといけないので難しくなる。白の勢力を無視して黒15と組んでおくが、白の引き筋にはそれぞれ対策が必要になる。



白16には黒17が先手なので、あとは上辺で頑張つて勝ちを出すことになる。黒23、25、27と引きだして、あとは盤端との戦いだ。最終的には黒35と飛んでイロハの四追いになっている。盤端があと一路狭ければこの勝ちはないの

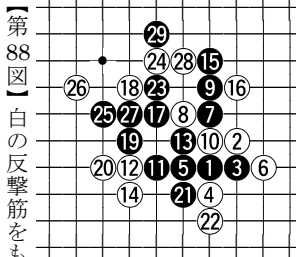
で、ギリギリの勝ちには違いない。

【第86図】白16は図のように単純に防ぐ方が強い。こうされては困るようだが、黒17と引いた後に黒19と続けて三が打てるのが黒15とした効果だ。



白20を中止めが普通だが、一本黒21を利かしてから黒23のトビ三が勝ちを決める一手になる。白24の外止めにも以下イロハニホへの四追いが決まる。白24を中止めも、以下上辺で簡単に勝てる。

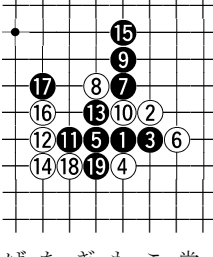
第87図



【第87図】白20を外止めの変化。前図と同じように黒21と引き、黒23と打つた時に今度は白24と外から止めることができる。

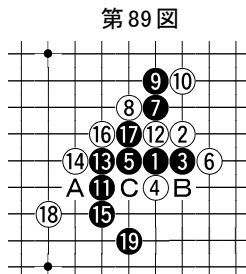
黒27と打てば白28が絶対となり、黒29で両四追いとなる。両方止める手がないのを確認していただきたい。

第88図



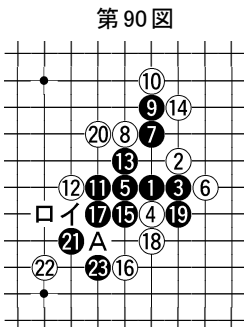
【第88図】白の反撃筋をもう一つ。白16には黒17と止めておく。続けて白18と打たれたら、外止めもあるが堂々黒19と止めておいて良い。これで白のこれ以上の攻めを牽制している。黒17の石も加わっているの、上辺の黒にはもう防ぎがない。なお、白16を18と先に引かれたら、この時は黒外止めをして先手を取れば良い。

【第89図】白10の変化。白10は上辺への進出は許さないぞ、という狙いだが、そうなると必然的に黒は下辺に向かうことになる。黒11と露骨にミセ、黒13、15と下辺に向かう。白14を下止めなら黒17と打って勝てるので、白は16から止めるが、黒17と止めた手が絶好の攻撃手となっている。白18と浮かし止めをするなら、黒19がまた絶好の含み手で決まっている。白18をAなら、黒B、Cで良い。



狙いだが、そうなると必然的に黒は下辺に向かうことになる。黒11と露骨にミセ、黒13、15と下辺に向かう。白14を下止めなら黒17と打って勝てるので、白は16から止めるが、黒17と止めた手が絶好の攻撃手となっている。白18と浮かし止めをするなら、黒19がまた絶好の含み手で決まっている。白18をAなら、黒B、Cで良い。

【第90図】白10の変化。この白10も前図と同じように上辺に気を遣った防ぎで、黒の剣先を止めているので強い防ぎには違いない。黒11、13と引いて行くのは当然だが、白14の防ぎなら、やはり黒15に組んでおくのが筋だ。白16はやはりここが急所になるが、黒17と変な所に固まっておくのがスピードをつける一手となる。

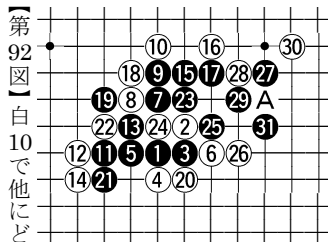


白18、20は手順の防ぎだが、黒21と斜めに引けるのが大きく、黒23後と斜めに引けるのが大きく、黒23後

イロまでとなる。また、白16を18なら、黒16、Aとミせておけば勝てる。

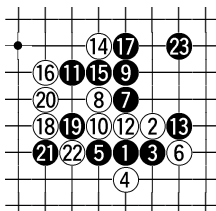
【第91図】白14の反対止めがやっかいだ。黒15から右辺に展開するしかないが、ぱっと見は勝ちが見えない。しかし、良く見れば右辺が広いので、手順に引いて行けば勝ちが見えてくる。

第91図



黒19、21が味付けで、これで黒23が先手で打てるようになる。黒25が引ければ後はもう少しだ。白26を反対でノリ手に遭いそうだが、実はそれだと黒に四追いがある。これはぜひ確認してほしい。やむを得ない白26に、黒27、29、31と打てば、あとはAまでとぎりぎりノリ手を逃れている。また、白20を反対に止められても白に四追いは残らない。

第92図



【第92図】白10で他にどこか強防がないか探した所、譜の白10が強そう。これにはいろいろな手があるが、黒11と構えておくのがなかなかの場所になりそう。白12には譜のようにじっくり黒13と止めておいて様子を見て良い。白14の止めなら黒15と引いてから黒17と打ち、以下白20までノリ手を打たれても黒23に含み手を打って勝てそう。

【第93図】白14に防ぐのも筋を止めて強い。これには黒15、17と構えておいて、上辺に展開できれば良いだろう。

以上10回に渡っているいろいろな変化を載せてみたが、黒5と力強く三を引くことが、まずは勝利への第一歩である。勝ちの形をしておけば、ここに載っていない変化が来ても大丈夫。実戦でぜひ打ってほしい。

第93図

